

## 愛は赤ちゃんの心の栄養

社団法人家庭問題情報センター 竹前ルリ

美智代さんは三十五歳の主婦で、商社に勤める夫と六歳の女の子と三人暮らしです。きちんとした服装をした美智代さんは、緊張した面持ちで、ためらいながら話し始められました。

**美 (美智代)** 前々から気になっていて、一度カウンセリングの方のご意見を伺いたい

と思っていたので、思い切ってお相談を申し込みました。

**カ (カウンセラー)** どんなことでしょうか？

**美** 私には香奈という六歳の娘がいます。特別問題はなく、この四月から私立小学校に入学して、お友だちもできて、楽しく過ごしているようです。夫も香奈を可愛がって、香奈もパパが大好きです。

**カ** それは良かったですね。それで何が問題なのですか？

**美** おかしいのは私なんです。最近気付いたのですが、理由にならないほどの些細なことで香奈をきつく叱ってしまうのです。自分でも何故あんなに怒ってしまうのかと後悔するのですが、ついまた繰り返してしまいます。

テレビや新聞で報道される虐待ではないかと心配になりました。私は叩いたりしていませんが、いつか、あの子を傷つけるのではないかと恐ろしいのです。

**カ** どんな時にそのようなことが起こるので

すか？  
**美** 普通に仲良く香奈と歩いている時など、

何のきっかけでも良いのです。歩くのが遅いとか、言葉が乱暴だとか、難癖をつけて叱ってしまいます。香奈はごめんさいと言って涙をこぼし、しょんぼり私の後についてきます。家に着く頃には私も彼女も機嫌を直して笑っているのですが、私は怒ったことを後悔して胸の奥に重く嫌な気持ちを抱えています。

母親が子どもを叱るのは普通ですが、些細なことにひどく腹を立てる自分がおかしいと思うようになりました。

**カ** ご自身の過去に、何か思い当たる経験はありませんか？

**美** 特に何も……。あつ！

**カ** 何か思い出されましたか？

**美** 私が小学校一年生の時でした。母が一年ほど入院しました。どうしてそんな大事なことを忘れていたのでしょうか。

その時私の世話をしてくれたのは父の独身の妹でした。叔母は悪い人ではないのですが、まだ十九歳の学生でした。元気の良い体育会系の人で、私がぐずぐずしていると、早くしろ、とか罵声を浴びせたのです。泣くと、もっと叱られました。父も私にめそめそするのをとても嫌がっていたので、私は寂しさを誰に訴えることもできずに、夜布団の中で泣いていました。

**カ** 小さな子どもには耐えがたい辛い経験だったでしょうね。

美 叔母は私を笑わせようと、遊んだり冗談を言ったりしてくれましたから、それには感謝しているのですが、怒る時はとても怖かったです。

力 辛い体験でしたね。その後お母様はお元気になられたのですか？

美 はい、おかげさまで一年後に無事退院できました。

おかしいですね。あんなに大変だったこと、すっかり忘れていたなんて。

力 人間の記憶は、とても不思議で、貴女にとつてその一年間は、できれば忘れていたくらい辛かったのでしょうか。無意識のうちには記憶の底に押し込めていたのだと思います。

美 それが出てきたということですか？

力 はい、そうです。何かの刺激によって、昔の場面が再現されることがあるのです。

美 そう言えば私、叔母の口調とそっくりな叱り方をしていました。まるで小学生の私がお母を真似て、もう一人の小学生の香奈を怒っているみたいです。

美智代さんは、笑いました。今までの深刻な表情が消え、楽しそうにさえ見えます。

美 それで納得しました。わけの分からない悲しいような怒りのような抑えきれない気持ちになって香奈を責めていました。

力 納得できないまま抑え込んでいると、感情が爆発することがあるのです。

その当時のさびしく悲しかった気持ちに気付いて、人に話して理解され慰められると、心の傷は癒されます。

美 原因が分かると、気持ちやすごく楽になりました。香奈に悪いことをしていたなあと思います。

それで教えていただきたいのですが、わが子を虐待する親のそれと私のこれとは同じなのでしょうか？

美は私、二人目を妊娠中で、夏に出産予定です。それもあって、私が気付かずに子どもを虐待しないか心配でした。

力 そうでしたか。貴女には虐待の心配はなさそうですが、心の仕組みは似ています。虐待と思われるほど子どもにきつく当たってしまう親は、自分自身が子どもの頃、愛情を充分もらえなかった人がほとんどです。赤ちゃんの時に、しっかりと抱きしめられ、愛されないと、自分を大切に思えず、人と愛情関係を築くのが難しくなります。

美 恐ろしいですね。小さい時の体験は大人になっても影響するのでしょうか？

美 想像する以上に大きな影響が残ります。赤ちゃんは言葉が分からなくても周囲の

人の気持ちを敏感に察し、それが大人になつてからの人生観を左右します。

美 じゃあ、赤ちゃんは何も分かっているなんて思つてはいけないですね。

力 はい。心優しい立派な大人に成長するためには、赤ちゃんは優しく温かい愛情に包まれる必要があるのです。

美 香奈の時は何も知らず子育てしてしまいましたが、大丈夫だったのでしょか？

力 親は自然な愛情をもって子どもを育てますし、子どもの心は健康で、多少のストレスがあっても大丈夫です。香奈ちゃんが健康に育ったのが何よりの証拠です。

でも、小さくても子どもは毎日体験を通して心を育み、人生について学んでいることを忘れないでください。

美 ほんとうにそうですね。私も香奈への態度を少し改められそうです。下の子が生まれる前に気付いて良かったです。

美智代さんは丁寧にあやして帰られました。

